

【国土交通省・東京都作成メモ】

第7回 P I 外環沿線協議会（概要メモ）

1. 日 時：平成14年9月19日（木） 午後7時00分～9時00分

2. 会 場：都庁第一庁舎5階 大会議場

3. 出席者：23名

関係者（敬称略）

武田 佳登（練馬） 湯山 茂（練馬） 宿澤 藤子（杉並） 本橋 又藏（杉並）
 濱本 勇三（武蔵野） 村田 あが（武蔵野） 川瀬 春吉（三鷹） 新 守一（三鷹）
 米津 鐵雄（三鷹） 小林 充夫（調布） 渡辺 俊明（調布） 橋本 妙子（狛江）
 秋山 光男（世田谷） 江崎美枝子（世田谷） 栗林 勝彦（世田谷）

地元自治体

倉田 征壽（杉並区部長） 伊藤 隆造（武蔵野市部長） 柴田 直樹（三鷹市部長）
 鈴木 忠（調布市部長）

国土交通省・東京都

大寺 伸幸（関東地方整備局道路企画官） 伊勢田 敏（関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所長）
 成田 隆一（東京都外かく環状道路担当部長） 宮良 眞（東京都外かく環状道路担当課長）

4. 傍聴者：約50名

5. 概 要：

【P I の進め方について】

（今後についての提案について）

- ・「都市づくり」が削除されたのは疑問。
- ・整備した場合の影響ばかりでなく、整備しなかった場合の影響についても議論すべき。
- ・この項目以外にやるべきことについて、協議員から意見を聞くべき。

（オープンハウスについて）

- ・オープンハウスで行う内容が明確でない。
- ・オープンハウスをやる場合は、P I 外環沿線協議会で議論してからにすべき。
- ・外環について知らない人への情報提供、いろいろな方からの意見の把握という点でオープンハウスは意味がある。
- ・オープンハウスについては、P I 外環沿線協議会の議題にすべきでない。もっと議論すべきことがある。
- ・オープンハウスでは、いただいた意見を誰がいつどのようにして返すのか答える必要がある。
- ・住んでいる地域などの属性を把握して、意見を整理する際に使えるようにすべき。
- ・オープンハウスは、継続して1ヶ月から2ヶ月くらいは最低限すべき。
- ・P I 外環沿線協議会での議論内容についてオープンハウスで情報提供していくべき。
- ・オープンハウスについては、このP I 外環沿線協議会ではなく、次回までの間に「P I 外環協議会（仮称）設立に向けた確認内容」を取り交わした準備会のメンバーで調整すべき。

【首都圏の交通の現状と課題について】

（主な意見）

- ・通過交通のデータについては、今回示されている数値と東京都でまとめている既出の数値が違うのではないか。

【その他】

- ・傍聴者アンケートについては、事務局案で実施することで了承された。
- ・進め方については、「今後についての提案」のとおりし、項目などについての意見があれば次回協議会開催前までに事務局へ連絡することとした。
- ・次回は、10月1日（火）午後7時より、進め方についての確認、必要性の有無（効果と影響）について討議することとなった。